

(2) 国府地域

①現況特性

- ・国府町は、奈良・平安・鎌倉時代に因幡の国の国府が置かれた地で、古くから歴史的にも文化的にも栄えてきました。
- ・町内には、梶山古墳、岡益の石堂など貴重な史跡・文化遺産が多く残り、県内屈指の歴史の町として位置づけられています。また、因幡万葉歴史館を中心として歴史をテーマにした文化活動や催しが度々繰り広げられています。
- ・鳥取市街地に隣接する西部水田地帯は、穀倉地帯として、また野菜生産地として古くから名を成しており、優良農地を中心とした田園景観が広がっています。
- ・国府平野からは因幡三山を眺望でき、それぞれが独立したランドマークになっています。
- ・県境に位置する扇ノ山は、国定公園の指定を受けており、良好な自然環境がみられる多様な野生生物の生息地になっています。
- ・扇ノ山の稜線上には、河合谷高原が広がり、広大な台地を利用して、放牧や高原野菜の栽培が行われています。
- ・深い峡谷をなす谷部には、日本の滝 100 選に選ばれた雨滝をはじめとして多くの滝がみられます。
- ・平成 23 年度の完成を目指して、殿ダムの建設事業が進行中であり、水害や水不足から生活を守るため、また地域発展に貢献するダムとして期待されています。

②主な景観特性・景観資源、公共公益施設等

自然資源	雨滝／河合谷高原／氷ノ山後山那岐山国定公園／扇ノ山
歴史資源	因幡国庁跡／宇倍神社／池田家墓所／梶山古墳／岡益の石堂／栃本廃寺跡／因幡の傘踊り／麒麟獅子舞
公共公益施設等	国府町総合支所／因幡万葉歴史館

■因幡万葉歴史館



■自然豊かな袋川の水辺景観



■平野部に広がる優良農地



■宇倍神社



■岡益の石堂



■山里集落の景観



③課題図

